平成 29 年度　静岡県作業療法士会臨時理事会 議事録

１．開催日時　平成 30 年 3 月 25 日　午前 10 時 10 分　～　午後 3 時 31 分

２．開催場所　公益社団法人 静岡県作業療法士会事務局（静岡市葵区昭和町 9-5 第二大石ビル 8F）

３．出席者

理事総数　15 名
出席理事　14 名
代表理事　秋山　恭延（議長）
理　　事　梶原　幸信　三井　忍　岩井　幸治　大庭　俊裕　岡庭　隆門
稲葉　洋介　大石　裕也　齊藤　洋平　建木　健　林　正春
村岡　健史　岡本　博行　伊井　玄
監　　事　遠藤　浩之

４．決議事項

第 1 号議案　交通費領収書：お金が発生した根拠を明確にするために新たに作成（一部修正）
マニュアル変更（手順も明記）し平成 30 年度より運用開始⇒承認
第 2 号議案　平成 30 年度役員体制　⇒　承認
第 3 号議案　ボランティアの依頼：窓口は事業部（承認は理事会）
交通費や昼食支給の検討が必要（主催者側の条件にもよる）
⇒　依頼ではなく募集という形で会員に案内する
第 4 号議案　議案集（事業報告、決算、予算）　⇒　承認
第 5 号議案　IT 機器レンタル事業説明会の各士会への開催依頼（協会より）
担当部署が不明確なため組織編成が整ってからでも良いのでは　⇒　協会へ確認
第 6 号議案　休会確定者　⇒　承認
第 7 号議案　特別支援教育 WG：学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会
平成 30 年 12 月 15（土）・16 日（日）で良いか　⇒承認
第 8 号議案　事業部：新規部員 18 名　⇒　今年度委嘱状出した部員は外し承認
第 9 号議案　静岡市あんしん住まい助成相談：今年度も静岡ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院と清水病院で受ける
第 10 号議案 法人化推進委員会　⇒　法人管理委員会へ名称変更
第 11 号議案 高次脳機能障害相談会（静岡県）
⇒　熊谷範夫氏から大石裕也氏に変更
第 12 号議案 ボランティア人員への交通費等の支給：事業規模に応じた人員で依頼という形であれば支給する。
第 13 号議案　各部新規部員（委嘱期間は 1 年間）：訪問リハ委員、福利部、調査部承認

５．報告事項

報告第 1 号　臨時三役会報告
報告第 2 号　理学療法士・作業療法士養成施設カリキュラム等改善検討会報告書（案）報告
報告第 3 号　子育て世代への取り組み
報告第 4 号　新人オリエンテーション（第 1 回理事会）
報告第 5 号　事務局からの報告

６．開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

７．議事の経過要領及びその結果（決議事項）

報告第 1 号　臨時三役会報告
1）学術部と地域活動推進部 WG との統合
平成 31 年度事業計画と当初予算から統合する予定
5 カテゴリーに分け担当理事・会計担当を設置（生活行為工夫情報 WG は調査部へ）
学術部の年 3 回研修会廃止（研修会は SIG 中心に企画、学術部の学会支援（査読等）

２）事業部と地域活動推進部の存在意義の重複
事業部を地域活動推進部へ統合（すべての部局で事業を展開している）
会計は東・中・西部で会計担当者を設置
地区ではなく事業としてそれぞれ動いている現状がある
地区ごとで事業に分かれて収支管理できていれば良い。
事務局から直接各事業へ資金移動する。
平成 31 年度事業から開始できるよう平成 30 年度試行錯誤していく。

３）部専用の法人口座の開設検討
各部全体の収支管理が煩雑。事業ごとに管理できるような方法検討（処理を簡略化）

報告第２号　臨床実習指導者要件が 5 年以上の業務従事および臨床実習指導者講習会等を修了した者となり、平成 32 年 4 月入学性から適応される。

報告第 3 号　研修会への子供同伴を形にしていきたい（秋山）要件提示を今後検討する。
次回理事会で審議事項として取り上げる。

報告第 4 号　新人オリエンテーション：平成 30 年 4 月 15 日（日）静岡労政会館
午前：オリエンテーションにて理事より部局紹介、午後：理事会
※Dropbox 内にオリエンテーションのプレゼン資料を各部作成すること。
※オリエンテーションにて研修会の年間スケジュール表を配布する。

報告第 5 号　理事会での審議事項（事業や予算の件）や年間スケジュールの報告

８．議長は以上をもって議事は終了した旨を述べ、午後 3 時 31 分、閉会を宣言した。
以上の決議を証するために、この議事録を作成し、議事録署名人が署名・押印をする。

議事録作成者　武内元